（毎月1日・15日発行）　昭和28年6月10日
定価　一部　5円　第三種郵便物認可　（第195号）

# とまこまい

苫小牧市役所
編集発行人　敏新　岡　正
印刷所　苫小牧民報社

## 引揚者へ請求書早く提出を

### 引揚給付金　千二百世帯が手続終る

市福祉事務所で引揚者の引揚給付金請求事務を取扱つてから、九月一日で満一年たちましたが、この間当市在住引揚者のうちすでに、千二百世帯がこの手続を終了し、またこのうち七百五十世帯（二千三百人）が認定若しくは国債受領をしております。

このような請求書提出状況は全道平均にくらべて好成績の方ではありますが、当市の未提出者は現在なお相当あるものと予想されております。これらのうち、引揚証明書並びに外地在住物証などが全然ないため、提出できかねている方も多数おられることと思われますので、そのような方は市福祉事務所の担当係にご相談のうえ、できるだけ早く書類を完備して提出するようにして下さい。

## 公営住宅など工事契約可決

（会議）　第三十八回臨時市議会は一日開かれ（市）会期を二日間と決め、田中市長から八月十六日新発足した『苫小牧港開発株式会社』についての報告、引続き例月（六、七月分）出納検査　市契約条例による契約の報告あつてから、つぎの議案九件について審議、いずれも原案どおり可決しました。

▽議案第一号今年度市上水道事業特別会計歳出予算補正（今年度第二回）として二十七万二千円を提案可決（予算総額六千三百二十九万二千十七円）

▽議案第二号市契約条例による契約締結（①契約月日＝七月二日②ブロック公営住宅の種別その他の契約対象＝第二種③建築敷地＝緑町団地④新築戸数＝三十戸⑤入札方法＝随意契約⑥契約金額＝七百二十万円⑦契約業者＝元町中村組⑧完成月日＝十月十五日

▽議案第三号市契約条例による契約締結（①七月二日②第二種③旭町団地④二十四戸⑤指名入札⑥七百三十五万円⑦大町鈴木建設工業株式会社⑧十月三十日

▽議案第四号市契約条例による契約締結（①七月二十五日②下水終末処理場用スクリーン設備機械並びに消化槽機械③浜町⑤随意契約⑥八百三十七万九千円⑦荏原製作所札幌出張所⑧九月三十日

▽議案第五号市契約条例による契約締結（①七月二十一日②魚礁築設用コンクリートブロック④千二百五十個⑤指名入札⑥二百二十六万八千七百五十円⑦大町松井コンクリート工業所⑧九月十八日

▽議案第六号市契約条例による契約締結（①七月二十五日②市道三条線舗装工事③駅前通りから消防署第一出張所まで④延長五百五十㍍⑤指名入札⑥八百三十万円⑦扶桑土木株式会社札幌出張所⑧十一月二日

▽議案第七号固定資産評価審査委員会委員の選任については別項のとおり

▽議案第八号土地の買収（沼の端本田熏雄氏所有の沼の端五三の一原野一一五反九畝二五歩を公共用地及び公共建物建設敷地として買収

▽議案第九号今年二月四日議決した市営バスの路線延長（千歳線）に関する免許申請についてその一部をつぎのとおり議決更正
終点＝千歳市本町二丁目十三番地先、㍍程＝二十二㍍九百㍍

## 人口動態（九月一日現在）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ▽世帯数 | 一二、〇六六 | ▽死亡 | 一四 |
| ▽人口 | 五六、〇六四 | ▽転入 | 二七七 |
| ▽出生 | 五一 | ▽転出 | 二一九 |
| | | ▽世帯数増 | 三四 |
| | | ▽人口増 | 九五 |

## 苫小牧工業港の沿革とその将来

今年は　苫…①…小牧市の市制施行十周年に当ります。そしてまた苫小牧港の開発も既にその着工以来　八年の歳月を経過しております。この時に当り　苫小牧市最大の願望である苫小牧工業港の沿革を振返り　また将来の方向をさぐつて見るのもあながち無意義ではないと思われます。以下着工までの経過　計画の変遷　現況　開発の効果等について　故田口工営部長の収集した資料　当室の収集した資料等から抜き書きして見たいと思います。内容不備の点は別日御指摘をこう次第です。

企画室次長　荒川忠夫

### 苫小牧港の必要性

はじめに苫小牧港の築設は何故必要なのか。

古くから漁業の根拠地として或いは避難港として、或いは本州との連絡港として、進んでは工業港として築設の方途を講ずべしとの論議がたたかわされてきました。

しかしながら、この事を一口にいうならば、荒廃のまま放置されてきた広ばくたる勇払原野を、開発利用し経済活動の場となさしめるためには、そのかなめとして港湾の築設が必要なのです。生産活動をいとなむためには、原料が必要である。原料のとぼしい我が国は、それを必然的に輸入しなければならず、そこに当然港というものが要求されてきます。また、二十万、三十万の人口の消費物資は、陸上運送のみをもつてさばくことは自ら限度があり、ここにも港というものが要請されるのです。

今日、諸種の実験調査と工法の進歩とから、苫小牧港は容易に可能なることが証明されるも、背後の資源関係現に工事が着々と進行中であるも、工業生産活動を成の暁は市の発展はいうに及ばず日本経済に寄与するとこれが壁となつて、盛んなる経済活動の場が、今日まで出来得なかつたに至る間の海岸には港が全くなかつたため、その操業に多大の支障がありました。この様な事態にかんがみ、有識者は明治の末葉から漁港修築を叫んで当局に運動これつとめましたが、実現を見るには至りませんでした。

### 勇払築港論

しかるに、大正十二年から十三年にかけて　当時の北海道庁技師林千秋氏（現日建設計株式会社監査役）によつて『勇払築港論』が提唱されました。

その論旨は『日本の将来は工業の振興と発展を図らねばならぬ国情にある。このためには工業原料である石炭を多く供給する必要がある。それには北海道の石炭積出港として石炭鉱区の中心に近接する留萌、釧路、勇払の三港を選定すべきである。

留萌、釧路については、既にそれぞれ適応した施設の工事が進められているが、勇払については何ら計画されていない。この事は誠に遺憾とするところであつて、もしこの築港が実現されていたならば石炭業者のうけるべき利益はばく大なものがあつたであろう。

築港の難易については、何ら天与の恩恵には浴していないが、港口における砂の移動を制するならば、内港堀さくによる港湾修築には絶好の地勢にあるのであるから、技術上決して難工事ではなく、また堀さくは付近湿地の埋立に利用出来る利点があり、内港堀さくによる石炭港の築設を図るべきである』

というもので、当時はもち論現下にも立派に通用する先見的内容をもつものでした。

（つづく）

## 内港掘さくで先見の明

### 大正十二年ごろ　勇払築港論提唱した元道庁林技師

## 議員協議会

二日開かれた議員協議会で決めた協議案はつぎのとおりです。

①協議案第一号十月一日から実施される社会保険診療費の改正については理事者から提案された乙表の適用を承認

②協議案第二号浜町に建設中の下水終末処理場敷地内にある岩淵ブロック工場の住宅移転についての見舞金を贈ることに決定　額は議会の意向を勘案して理事者が善処する

③協議案第三号十一月三日『文化の日』を中心にくりひろげられる市文化祭の実行委員会委員（二人）の推せんは、市議会正副議長に一任（総務文教厚生委員会から各一人推せん）

④報告―『王子争議早期解決懇請委員会』から運動経過報告

⑤報告―財政調査特別委員会から調査中間報告

八月五、六日開かれた議員協議会で、王子・国策両製紙会社の法人税割の減収などで三千万円以上の赤字を生ずるという今年度の市の財政問題について理事者からこの赤字は不要不急事業の中止や支払繰り延べで補てんしたいという提案に対し、総務委員全員のほか各常任委員会から委員二人ずつをあげて小委員会（財政調査特別委員会）をつくり付託審査中のもの

⑥報告―苫小牧漁業協同組合の再建整備計画に基く実績報告

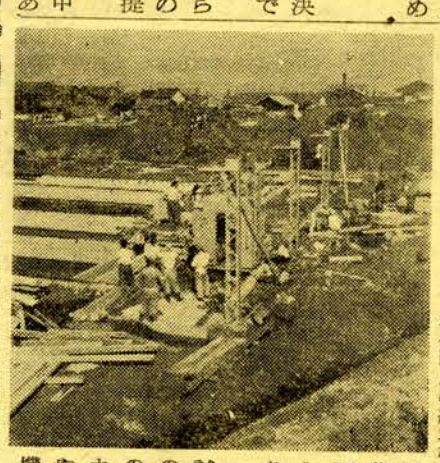
⑦協議案第四号海岸災害復旧工事を❶元町地内延長四十米❷浜町地内延長二百三十米の二カ所に施行することを承認

## 下水道終末處理場工事進む

四月から浜町に建設中の市下水道終末処理場の工事は、着々と進み、すでに円筒型の消化槽（最高八米八十、直径十七米）や沈澱池、消毒槽などはほとんどできあがり、残るは海岸寄りの汚泥乾燥床の整地、事務所、スクリーンやポンプ場などの付帯設備だけでこの敷地は　全部で　約七千坪（うち汚泥乾燥床は千坪余）総工費は五千六百万円で、十日には水道課で沈澱池の汚泥カキヨセ機や移動機（トラバーサー）の試運転による検収を行いました。

なお沈澱池を中心に周囲一帯を土堤でかとみ、内側に花壇をつくつたり、植樹したりして小公園風の緑地帯を設けて環境を美化する計画が進められております。

（写真は試運転中の沈澱池の汚泥カキヨセ機や移動機）



## 固定資産税評価審査委員改選

### 坪内氏ら選任

市固定資産評価審査委員会委員の選任については、任期満了の三木義郎氏（王子製紙苫小牧工場総務部長）を再選、旭川市転出の中村誠氏（前勇払国策事務部副部長兼経理課長）の後任には坪内圭二氏（勇払国策庶務課長）を決めました。

## ジフと百日せき予防注射二回目

二十二日から開始

八日から行われているジフテリヤと百日せき予防注射の第一回は十七日で終了しますが第二回は二十二日からつぎの日程で行われます。

なお第三回は十月六日からとなつております。

▽二十二日樽前（小学校、旧配給所）勇払（亀谷亀之助氏宅、北光寮、消防会館）▽二十四日（弁天、開拓、伊藤末吉氏宅、柳谷シモ氏宅、弁天会館）静川（小学校）錦岡（木村金蔵氏宅、診療所）糸井（会館、佐藤徳次郎氏宅）▽二十五日沼の端（消防会館）柏原（小学校）東京開拓（関善四郎氏宅）中野（会館）▽二十六日植苗（小学校、丹治一三氏宅、会館）丸山（小学校）▽二十七日ひまわり保育所（浜町）旭保育所（旭町）若葉保育所　東町）▽二十九日一区、鉄道区、東町（一区会館または日通労働会館）二区（会館　三区（会館）旭町（保健所）▽三十日四区（公民館）五区（公民館）六区（会館）七区（中央院）▽十月一日木場町、緑町（会館、妙顕寺）山手町（北光小学校）白金町、西町、西弥生、矢代町（八起園）

## 特別求人開拓月間

### 苫小牧公共職業安定所

### 〝みんなの力でみんなに仕事を〟

### 九月一日から三十日まで

▽方針＝明春の新規学校卒業者（とくに高校卒業者を重点に）駐留軍離職者、身体障害者などの雇用促進を目ざして求人の確保を図り、また集団求人方式を推進するため

▽スローガン＝『みんなの力でみんなに仕事を』

▽職業紹介計画＝中学校は九月一日求人求職受付開始十二月一日紹介開始、卒業と同時に就業開始、高校は七月一日求人求職受付開始、十月一日紹介開始、卒業と同時に就業開始

▽月間中の主なる実施事項＝①特別求人開拓班（三班）を編成して市内事業所の雇用主を訪問②学校、経済団体、PTAなどの会合に職員を出席させ、就職促進を依頼③雇用主懇談会に併せて職業指導協議会を開催

## 固定資産税第3期分は

9月30日までに納税して下さい

## メートル法の使用に思う

市教委教育長　森田　勇

今年の五月場所からお相撲さんの身長、体重もメートル法を使うことになり、若の花一メートル七七、体重一〇五キログラム等と発表され、一寸面食らつたが、これ位はまだよいとして八畳間を十三平方メートルの間等といわれると全く困惑してしまう。

しかしこれは誠に不勉強なことで、わが国は昭和二十六年に計量法という法律を制定して今までの尺貫法、ヤードポンド法、メートル法の三本建てを改め、メートル法一本建てとしており、その全面実施が来年一月一日である。とするとわれわれは今のうちにもつとしつかり慣れておかなければならない。

メートル法が他の単位にくらべて合理的な計量単位である。ことは、論をまたないところであるが、さて実際にこれを実施するとなるといろいろ困難なことのあるのは、日本だけの問題ではない。アメリカやイギリスにおいてもメートル法の合理的、かつ利便の点を認めながら、切替え時の混乱をおそれて今でもメートル法とヤードポンド法の二本建てを採用している。

これに反してドイツは一八七五年ビスマルクがフランスとの戦争で勝利をおさめたときに、或いは半強制的に採用した。

敗戦国であるフランスの計量単位メートル法の優れている点を認め、強制的にこれを採り上げ使用されたことはえらいと思う。

わが国がメートル法一本建て昔の計量単位はどこの国でも手足などをもとにして考えていたため、一貫した系統がなく、また地方によつて著しく異つていたのである。

しかしその後国際間の交流が盛んに行われ、産業、経済、文化の進歩とともに、より合理的な、より系統的な、そして統一されたものを望むようになつたことは当然であり、現在メートル法を強制的に、或いは半強制的に採用している国が七十カ国に達していることもこの意味からであり、現在メートル法の優れている点を認めて、強制的にこれを採り上げ使用されたことはえらいと思う。

わが国がメートル法一本建て昔の計量単位はどこの国でも手足などをもとにして考えていたため、一貫した系統がなく、また地方によつて著しく異つていたのである。

しかしその後国際間の交流が盛んに行われ、産業、経済、文化の進歩とともに、より合理的な、より系統的な、そして統一されたものを望むようになつたことは当然であり、現在メートル法を